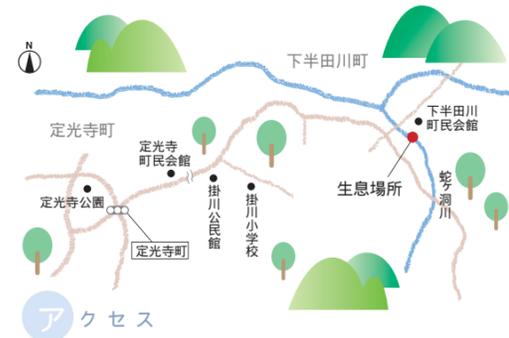




写真提供 / 水野哉子 氏



生きている宝  
蛇ヶ洞川  
オオサンショウウオ  
(特別天然記念物)



瀬戸のまちにオオサンショウウオが生息していることを知っていますか。オオサンショウウオは、「生きている化石」と呼ばれ、太古に生きていた祖先の形状を色濃く残しており、特別天然記念物に指定されている世界最大の両生類です。

全長1.2m以上の個体も記録されていますが、普通に見かけるのは60cmぐらいの個体で、日中は川の中の岩かげなどにかくれています。夜になると川の中を移動し、大きな口でサワガニや魚、カエルなどを食べます。

下半田川町の蛇ヶ洞川では、以前からオオサンショウウオがいることが知られていましたが、平成6年(1994年)の河川工事のための事前調査により生息が確認されました。

2000年(平成12年)からは、東山動物園や市の学術調査が行われ、調査や工事の際の保護に活躍されたのが、「瀬戸サンショウウオを愛する会」の方々です。現在は、会としての活動は終えられましたが、オオサンショウウオを見守り続けておられます。

インタビュー

会の皆さんに当時の様子を聞きました

まず、人工巣穴の作り方やお世話の方法などを調べるために、広島県の安佐動物公園や島根県の瑞穂町など、オオサンショウウオの保護が進められている先進地に視察に行きました。富田さんは、生息環境が下半田川町と似ており、オオサンショウウオは、山奥に住んでいるのではなく、人家の近いところに住んでいることを実感されました。

この点は、オオサンショウウオを知ってもらうためにもとても重要なことです。人と近い場所に住んでいることが、愛らしさにもつながっていると思います。しかし、同時に人がオオサンショウウオと関わっていく上で、川の水を汚さないとか、川に石を投げないなどのマナーが重要になってきます。

水野さんは、夜行性のオオサンショウウオを観察するために、毎日、夜になるとパトロールを続けられました。残念なことに、パトロールをしていると、川に捕獲するための網が設置されていることもあったそうです。

富田さんは、「瀬戸にはこんなにすばらしい生き物がいることをぜひ知ってほしいです。」と話され、水野さんも「私がパトロールをしていて会った時は、声をかけてもらっていいですよ。」と話してくれました。苦労された話、うれしかった話、驚いた話が聞けると嬉しいです。



写真提供 / 富田恒さん(左) 水野哉子さん(右)

オオサンショウウオの卵(卵径5mm)



写真提供 / 本田政夫 氏



オオサンショウウオの幼生

写真提供 / 水野哉子 氏

参加者募集

下半田川町蛇ヶ洞川  
オオサンショウウオ巣穴清掃

蛇ヶ洞川に生息する国の特別天然記念物オオサンショウウオの人工巣穴清掃の参加者を募集します。



写真提供 / 水野哉子 氏

日時 8月1日(日) 午後1時~4時頃  
場所 下半田川町民会館  
内容 ・町民会館でオオサンショウウオの生態や巣穴の解説  
・川に入って人工巣穴の清掃  
巣穴にオオサンショウウオが発見されれば観察会を行います。  
定員 30人(先着順)  
参加費 無料  
申込方法 7月16日(金) 午前10時から電話でお申し込みください。  
締切 7月23日(金)  
申込・問い合わせ先 / 文化課文化財係 21・1951